

こいしわらがわ

## 小石原川ダムによる河川水位低減効果

独立行政法人水資源機構<sup>みずしげんきこう</sup>が管理する小石原川ダム（福岡県朝倉市）では、9月18日からの降雨により増水した河川水の一部を一時的にダムへ貯め込む「防災操作」を行いました。

この防災操作により、小石原川ダムの下流約22kmにある栄田橋<sup>さかえだばし</sup>地点では、ダムが無い場合と比べ河川水位を推定で約0.68m低減できました。

### 今回の防災操作は、

筑後川水系小石原川の小石原川ダム流域では、台風14号に伴う豪雨により、9月18日から19日までの総雨量286mmの降雨を記録しました。

この降雨により、小石原川ダムでは最大流入量毎秒約83立方メートルの時に、約99.9%に相当する毎秒83立方メートルを一時的に貯留することで、河川水位の上昇を抑える防災操作を行いました。

※ 今回の発表は速報値であり、数値等は今後の調査により変わることがあります。



令和4年9月26日

独立行政法人水資源機構<sup>みずしげんきこう</sup> 筑後川上流総合管理所

#### 問い合わせ先

独立行政法人水資源機構 筑後川上流総合管理所  
管理課長 山本  
住所 : 福岡県朝倉市江川 1660-67  
電話 : 0946-25-0113  
HPアドレス : <https://www.water.go.jp/chikugo/asakura>

## 小石原川ダム位置図

福岡県朝倉市江川 地先

※筑後川中流部（河口から約 40km 地点）に流入する小石原川の約 25 km地点



## 小石原川ダムの洪水時防災操作

ダム防災操作 YouTube 動画

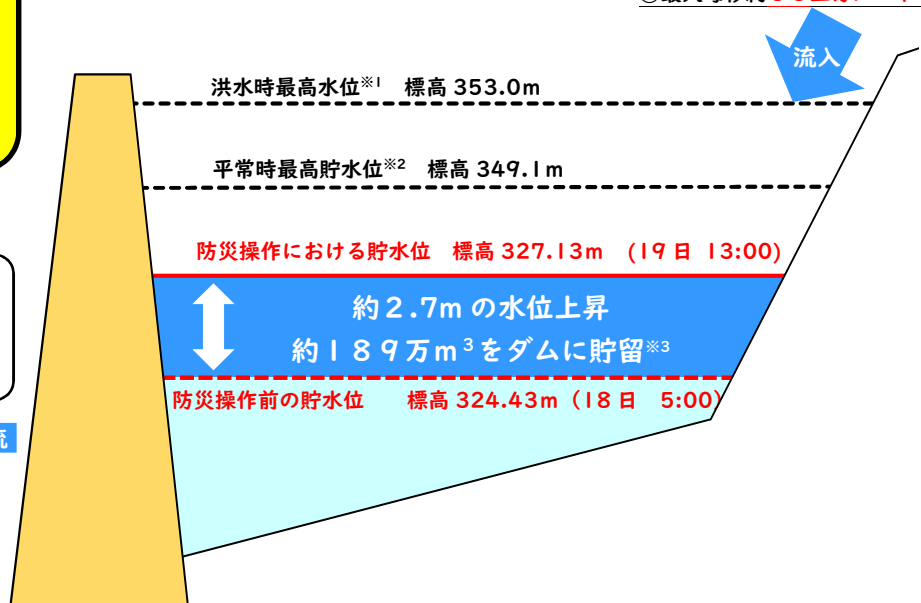
最大流入量のうち、約 99%の  
毎秒約 **82.85 立方メートル**  
(①-②) をダムに貯めました。

### 【放流量】

ダムから下流河川へ流した水の量  
最大流入量時の放流量  
②毎秒約 **0.15 立方メートル**

### 【流入量】

ダムに流れ込んだ水の量  
①最大毎秒約 **83 立方メートル**



※<sup>1</sup> 洪水時最高水位 : 洪水時にダムによって一時的に貯留することとした流水の最高水位

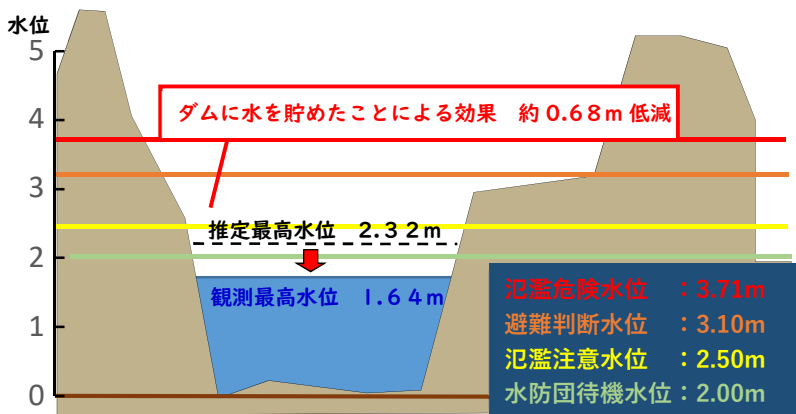
※<sup>2</sup> 平常時最高貯水位 : 平常時にダムによって貯留することとした流水の最高水位

※<sup>3</sup> 9月20日9時現在の速報値

※今回の発表は速報値であり、今後の調査により数値等が変わることがあります。

## 防災操作によるダム下流河川水位低減効果

栄田橋水位観測所地点 河川断面図 (イメージ)



【栄田橋水位観測所地点】

①ダムがなかった場合

**推定最高水位 2.32m**

※現時点で得られているデータ等を用いて、推定最高水位を算出していることから、今後修正となる可能性があります。

②小石原川ダムの防災操作による河川水位

**観測最高水位 1.64m**

防災操作によるダム水位低減効果 (①-②)

栄田橋河川水位観測所付近の河川水位を

**約0.68m低減**

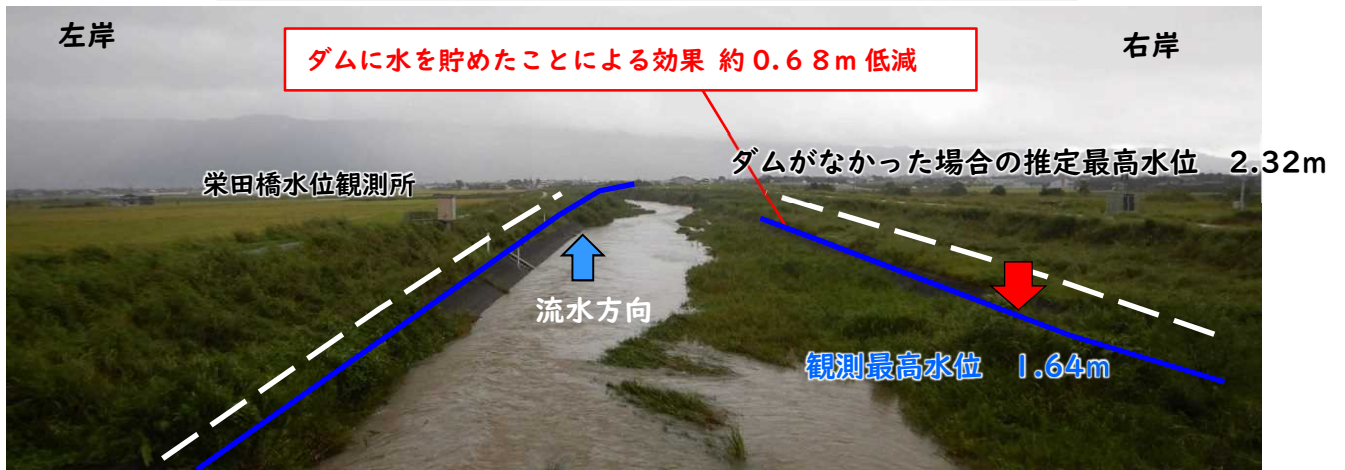
※この数値は速報値です。



河川水位の標記については

国土交通省 HP「洪水等に関する防災情報体系の見直し実施要領」

栄田橋水位観測所地点 現地写真 (9月19日 11時撮影)



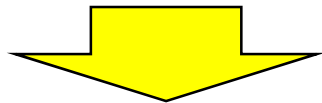
栄田橋水位観測所地点 現地写真 (洪水前)



小石原川ダム貯水状況



撮影日時：令和4年9月18日 6:00  
撮影時の貯水位：EL.324.41m



撮影日時：令和4年9月19日 11:00  
撮影時の貯水位：EL.326.93m



# 小石原川ダム防災操作図 令和4年9月18日～19日

